

# 事務事業評価（25年度 実施した事務事業）

共通番号	部	所属名	款	項	目	実施計画書 ★	事務事業名	事業の目的	H25 事業概要	H25 事業実績	H25決算 見込額	活動指標名 (業務量の指標)	単位	H25 目標	H25 実績	事業の進捗	必要性	有効性	効率性	優先性	総合判定	判定理由	事業の 方向性			
56	新居支所	新居支所	02	01	19		新居地域センター管理運営費	利用しやすく、安全で快適な活動拠点施設として、市民の社会教育、自治振興、文化振興などのための場とする。	貸館業務 施設の維持管理	貸館業務 開館日数：306日、利用件数：1,907件、延利用者数：41,534人 各所修繕等	20,989	年間延べ利用者数	人	35,000	41,534	B	A	A	B	A	A	新居地域の市民活動の拠点として必要な施設であるが、施設維持管理の所管については検討する必要がある。	改善(その他)			
546		社会教育課	10	06	02		家庭の教育力充実事業	子どもたちを健やかに育てるために、家庭の教育力の向上を目指す。	幼・小・中学校の保護者を対象とした講座等を開催することにより、家庭教育も重要性を学ぶ機会を提供する。	市内中学校4校のPTAと共催し、思春期の子との接し方について、思春期子育て講座を実施した。1,042人参加 小学校の入学説明会に合わせて、就学時子育て講座を開催した。523人参加 公立幼稚園PTA研修会として、家庭教育の重要性について、講演を実施した。120人参加	174	講座参加人数	人	1100	1685	A	A	A	A	A	A	A	家庭教育をサポートするためには必要。	改善(その他)		
553		社会教育課	10	06	02		生涯学習情報提供事業	生涯学習に必要な講師を探すことができるよう情報提供をする。	生涯学習指導者の人材登録リストを更新、追加し、生涯学習の支援を行う。	170件 掲載した。	39	達人登録人数	件	300	282	C	A	A	A	A	A	生涯学習を幅広く、推進するためには必要	改善(その他)			
556		社会教育課	10	06	02		成人活動支援事業	成人の学習活動やコミュニティー活動を支援し、生涯学習を推進する。	新居町の婦人会、壮年会の教養を高めると共に、明るい住みやすい地域社会の発展向上に努めることを目的とする。	新居町婦人会、新居町壮年会連絡協議会の活動に対し補助をした。	381							B	C	C	C	生涯学習を推進するためには、補助内容等の検討が必要。	改善(一部廃止)			
557		社会教育課	10	06	02		海鳴学園	高齢者が健康で元気な生活を送ることができるよう、生きがいづくりの場を提供する。	高齢者の仲間作りと時代に即応した教養を身につけ、生きがいのある生活に資する学習活動の場を展開し、老人福祉の向上に役立てる。	高齢者の生きがい及び生涯学習の振興を目的にし、生涯大学(海鳴学園)を運営した。1年生21人、2年生22人、大学院生23人	612	参加者数	人	75	66	C	A	B	B	B	B	B	高齢者の教育を推進するためには必要。	改善(その他)		
558		社会教育課	10	06	02		市民文化講座事業	学習の場を提供し、生涯学習を推進する。	文化協会主導で市民を対象に文化講座を開催する。	文化協会に市民を対象に文化講座の開催を委託した。12講座	120	講座数	講座	15	12	C	B	B	C	C	C	生涯学習を推進するためには必要だが、内容等の検討が必要。	改善(その他)			
560		社会教育課	10	06	03	★	西部公民館等管理運営事業	利用者に不便をかけないように、不具合箇所の修繕や、備品の購入など適正な施設の維持管理を行う。	公民館の施設維持管理事業 公民館活動に供するため、西部・白須賀公民館における各種委託管理を実施。	非常照明修繕など維持修繕や管理運営を実施。	11046	施設利用者数	人	48500	41245	B	A	A	B	A	A	A	地域の活動の場として、また、生涯学習の場として必要である。	継続		
561		社会教育課	10	06	03		講座及び催し物	地域住民のために、住民の知識の向上、健康増進、情操の純化を図り、生活文化の振興に寄与する。	講座等の開設事業 公民館活動の推進と市民意識の向上を図るため、講座等の開設を実施。	韓国料理(前期) 受講者数 12人 韓国料理(後期) 受講者数 16人 初めてのオカリナ(前期) 受講者数 8人 体にやさしいレシピ(前期) 受講者数 10人 ペン字(前期) 受講者数 11人 ペン字(後期) 受講者数 20人 湖西はつらつ体操(前期) 受講者数 13人 ネイルチャラフト(後期) 受講者数 8人 タイ式ヨガ(後期) 受講者数 16人 楽しいお菓子作り 受講者数 12人 からだボカボカあったかレシピ(後期) 受講者数 20人 ビデオ撮影講座(後期) 受講者数 8人 西部公民館まつり 参加者 2600人	780	講座受講者数	人	1200	980	A	A	B	A	A	A	A	A	A	地域活動をの発表の場や生涯学習を推進するためには必要。講座内容等の検討が必要	継続
562		社会教育課	10	06	03		公民館運営審議会の開催と委員の研修	社会教育法第29条第1項の規定により湖西市立公民館運営審議会を置く。	公民館における各種事業の企画実施につき、調査審議を実施。	公民館運営審議会 3月18日 開催	54							A	A	A	A	A	法的に決められているため必要。	継続		
563		社会教育課	10	06	03		公民館活動の推進	公民館活動の推進のため研修や情報交流を行う。	静岡県公民館連絡協議会主催の研修会に参加。	静岡県公民館連絡協議会 4月24日 公民館等新任者研修会 5月24日 公民館主事等研修会 6月19日 県公連理事會 8月9日 公民館主事等研修会 1月22日	161							B	B	A	B	B	職員が公民館事業に必要な研修を行うものであるため必要	継続		
572		社会教育課	10	06	05		運営協議会費	勤労青少年のより良いコミュニケーションを図るとともに、教養の向上を推進する。	ホームの運営に関することを協議する。	委員8名、任期2年、年間2回開催した	61							A	A	A	A	A	法的に決められているため必要。	継続		
573		社会教育課	10	06	05		講座費	勤労青少年のより良いコミュニケーションを図るとともに、教養の向上を推進する。	教養講座を開設し、青少年の余暇活動の推進や知識の向上を図るための講座を開催する。	料理・陶芸・華道・書道・パドミントン等を前期、後期にそれぞれ10~20回実施した。	3,274	講座利用者総数	人	4,900	4,686	A	B	B	B	B	B	B	勤労青少年の余暇の利用や教養を身につけるためには必要。講座内容等の検討が必要。	改善(その他)		
575		社会教育課	10	06	05	★	ホーム施設管理(勤労青少年ホーム管理運営費)	勤労青少年のより良いコミュニケーションを図るとともに、教養の向上を推進する。	勤労青少年ホームの維持管理を行う。	勤労青少年の福祉の増進のため施設の維持管理を行った。	3,976	施設利用者数	人	9000	8592	A	A	B	A	A	B	A	勤労青少年の余暇の利用や教養を身につけるためには必要である。	改善(その他)		
594		社会教育課	10	06	08	★	北部地区多目的研修施設管理運営事業	利用者に不便をかけないように、不具合箇所の修繕や、備品の購入など適正な施設の維持管理を行う。	北部地区多目的研修集会所施設の維持管理 研修、講座開催等に供するため施設の維持管理を実施。	維持修繕や管理運営を実施。	8573	施設利用者数	人	15000	14801	B	A	A	B	A	A	A	地域の活動の場として、また、生涯学習の場として必要である。	継続		

事務事業評価（25年度 実施した事務事業）

共通番号	部	所属名	款	項	目	実施計画書	事務事業名	事業の目的	H25 事業概要	H25 事業実績	H25決算 見込額	活動指標名 (業務量の指標)	単位	H25 目標	H25 実績	事業の進捗	必要性	有効性	効率性	優先性	総合判定	判定理由	事業の 方向性
595	教育委員会事務局	社会教育課	10	06	08		講座及び催し物	農村地域の住民の健康保持及び生活の向上並びにコミュニティ活動を図る。	北部地区（知波田、入出）住民の農業振興、健康保持及び生活の向上並びにコミュニティー活動の高揚を図る。	家庭料理づくり講座 受講者数 16人 初めてのフラダンス講座 受講者数 17人 いきいきくぐくん健康体操講座 受講者数 17人 湖西市の名所・史跡学習講座 受講者数 15人 書道基礎講座（前期） 受講者数 14人 書道基礎講座（後期） 受講者数 14人 健康吹き矢講座（後期） 受講者数 14人 食べられる珍味「野草料理」講座 受講者数 14人 すっきり暮らそう片付け講座（前期） 受講者数 12人 味噌づくり 受講者数 10人 そばうち体験講座（後期） 受講者数 8人 海外旅行英会話基礎講座（後期） 受講者数 6人 知波田小支援講座 受講者数 33人 北部多目的センターまつり 台風接近のため規模を縮小、日程を変更し実施 参加人数 944人	612	講座受講者数	人	1230	1141	C	A	A	B	A	A	地域活動をの発表の場や生涯学習を推進するためには必要。講座内容等の検討が必要	継続
596	教育委員会事務局	社会教育課	10	06	08	★	南部地区構造改善センター管理運営事業	利用者に不便をかけないように、不具合箇所の修繕や、備品の購入など適正な施設の維持管理を行う。	南部地区構造改善センターの維持管理 研修、講座開催等に供するため施設の維持管理を実施。	維持修繕や管理運営を実施。	8707	施設利用者数	人	33370	36905	A	A	A	B	A	A	地域の活動の場として、また、生涯学習の場として必要である。	継続
597	教育委員会事務局	社会教育課	10	06	08		講座及び催し物	農村地域の住民の健康保持及び生活の向上並びにコミュニティ活動を図る。	南部地区（主に白須賀地域）住民の農業振興、健康保持及び生活の向上並びにコミュニティー活動の高揚を図る。	ふるさと講座（前期） 受講者数 26人 エンディングデザイン（前期） 受講者数 8人 にがお絵&まんが（前期） 受講者数 11人 フィットネスフラ（前期） 受講者数 11人 落語に親しもう（前期） 受講者数 6人 ゴルフ入門（前期） 受講者数 20人 心をととのえよう写経（前期） 受講者数 3人 男の腰ひざ痛改善トレーニング（後期） 受講者数 10人 基礎から学ぶパソコン講座（後期） 受講者数 13人 お正月を飾ろう 受講者数 9人 ジュニアフロンティア講座 受講者数 45人 南部改善センターまつり 参加人員 700人	608	講座受講者数	人	1050	1012	A	A	A	B	A	A	地域活動をの発表の場や生涯学習を推進するためには必要。講座内容等の検討が必要	継続
599	教育委員会事務局	図書館	10	06	09		図書館運営事業	市民の情報拠点としての充実を図る	図書や雑誌等の資料の充実	より多くの市民に利用していただくため、蔵書及び図書館機能の充実と窓口の円滑なサービスに努めた。 図書：購入 6,048冊 雑誌：購入 1,219冊 視聴覚資料：購入 122点	26890	入館者数 168,000人	人	165,000	151,042	B	A	A	A	A	A	事業内容が概ね適切な事業である	継続
600	教育委員会事務局	図書館	10	06	09		図書館施設維持管理事業	快適な施設環境を整える	設備の保守・改修、システム機器の維持・管理	図書館の利用者に安全で快適な空間を提供することを目的に施設の維持管理を行った。 図書館管理システムの保守（ハード、ソフト） 各種設備の保守	12120	管理運営上支障なく開館された日数 302日	日	301	301	A	A	A	B	A	A	事業内容が概ね適切な事業である	改善（一部廃止）
601	教育委員会事務局	図書館	10	06	09		図書館活動推進事業	子供をはじめとする読書活動の充実を図る	読み聞かせ等のイベント開催	図書館ボランティアの自己啓発及び育成とともに読書普及活動を行った。 ブックスタート、幼児向け読み聞かせ会、集客イベントの開催	1279	イベント開催回数 145回	回	146	145	A	A	A	A	A	A	事業内容が概ね適切な事業である	継続
602	教育委員会事務局	図書館	10	06	09		図書館運営事業	市民の情報拠点としての充実を図る	図書や雑誌等の資料の充実	より多くの市民に利用していただくため、蔵書及び図書館機能の充実と窓口の円滑なサービスに努めた。 図書：購入 2,154冊 雑誌：購入 691冊 視聴覚資料：購入 59点	12511	入館者数 107,000人	人	105,000	100,110	B	A	A	A	A	A	事業内容が概ね適切な事業である	継続
603	教育委員会事務局	図書館	10	06	09		図書館施設維持管理事業	快適な施設環境を整える	設備の保守・改修	図書館の利用者に安全で快適な空間を提供することを目的に施設の維持管理を行った。 開架室照明器具修繕(LED化) 各種設備の保守	8325	管理運営上支障なく開館された日数 301日	日	302	302	A	A	A	A	A	A	事業内容が概ね適切な事業である	改善（一部廃止）
605	教育委員会事務局	スポーツ推進課	10	07	01	★	社会体育振興事業	市民一人一スポーツを目指し、スポーツ及びニュースポーツの普及を進め、社会体育の振興を図る。	①スポーツ推進審議会 スポーツ推進審議会委員の意見を聞いて、スポーツ推進計画の見直しを平成25年度までに定める。 ②スポーツ推進委員 各種スポーツ活動の企画・運営を行い、スポーツの普及を図る。	①「スポーツや運動に関する意識調査」の結果に基づき、平成26年度から平成32年度までの計画の見直しを行った。 ②早起きウォーキング、ニュースポーツの講習会や大会などを開催した。また、大会を行っているニュースポーツ種目の名称を変更した。	16,352	ニュースポーツ参加人数	人	1,250	1,046	A	A	B	B	B	A	スポーツ基本法に基づき、社会体育振興のためスポーツの普及を図る必要があることから、市が継続して事業を実施する。	継続
606	教育委員会事務局	スポーツ推進課	10	07	01	★	運動公園等維持管理事業	公園、競技施設の維持管理を行い、利用者に安全で気持ちよく利用できるようにする。	平成55年4月に庭球場が供用開始したのを皮切りに、平成57年4月に野球場、平成62年5月に陸上競技場・弓道場、平成63年5月に児童広場、その後夜間照明が付設された。その他、北部地区運動広場や梶田多目的運動広場がある。	運動公園入り口舗装の修繕や弓道場電撃殺虫剤の取り替えなどを行った。	23,118	利用者数 60,000人	人	59,000	59,817	A	A	B	B	A	A	基本計画に掲げた事業が、年次ごとに着実に進展できるように見直しを図りながら進める。	継続
607	教育委員会事務局	スポーツ推進課	10	07	01	★	みなと運動公園維持管理事業	公園、競技施設の維持管理を行い、利用者に安全で気持ちよく利用できるようにする。	国有地を国から無償で借用し、昭和43年6月より供用開始した。 国有財産無償貸付契約期間： H23. 4. 1～H28. 3. 31 野球場、多目的広場（夜間照明付）児童遊園地	外周フェンスの修繕を行った。	6,033	利用者数 16,000人	人	16,000	13,700	A	A	B	B	A	A	国有財産用地であるみなと運動公園は、現行の内容で保全を図りながら、継続していく。	継続
608	教育委員会事務局	スポーツ推進課	10	07	01	★	新居社会体育施設管理運営事業	新居社会体育施設の維持管理に努め、市民が安全で安心して利用できるようにする。	旧体育館の解体工事を終え、新体育館の建設（鉄筋コ-2階建、1,986.60㎡）に着手し、26年8月までに完成する。新居庭球場、弓道場については、従来どおり利用の開放を継続する。	旧体育館を取り壊し、平成26年8月までに新体育館を同一場所に建設する。平成25年度中は、新居地域センターで受付業務を行った。	195,370	利用者数 65,000人	人	65,000	6,793	A	A	B	B	A	A	新体育館を建設中のため、利用者は学校施設等で活動を行っている。今後は、有効利用するために利用形態等を実施する必要がある。	継続

# 事務事業評価（25年度 実施した事務事業）

共通番号	部	所属名	款	項	目	実施計画事業	事務事業名	事業の目的	H25 事業概要	H25 事業実績	H25決算見込額	活動指標名（業務量的指標）	単位	H25 目標	H25 実績	事業の進捗	必要性	有効性	効率性	優先性	総合判定	判定理由	事業の方向性	
609	教育委員会事務局	スポーツ推進課	10	07	01	★	複合運動施設管理運営事業	住民サービスの向上と経費の削減を図るため、民間の指定管理制度を導入する。	施設の管理運営は指定管理者が行うが、50万円以上の修繕と備品の購入は市が直接行う。(指定期間:H23.4.1~H28.3.31指定管理者:コナミスポーツ&ライフ・東海ビル管理グループ)28年度以降も指定管理者による運営を行う。	子ども水泳教室を増設、ヨガ・健康チェックの教室を新設し、参加者増が見られた。修繕では、水風呂用空冷チラーの取り替えなどを行った。	155,024	利用者人数(レジャープール、トレーニングルーム、浴室、メインアリーナ、サブアリーナ) 300,000人	人	275,000	299,411	A	A	A	A	A	A	A	民間事業者の持つ能力を活用することにより、住民サービスの向上と管理経費の削減を目指しているが、利用者の増加は見られるものの光熱水費に関しては、単価の上昇に伴い、コストが増大傾向にある。	継続
610	教育委員会事務局	スポーツ推進課	10	07	02	★	スポーツ普及推進及び育成事業	スポーツに親しみを持ち、生涯スポーツの確立のため、参加者数を増やす。	スポーツ教室を開催し、スポーツの楽しさを知ってもらうと同時に、心身ともに健やかな市民を育成し、「生涯スポーツ」の振興を図る。また、誰でも参加できる市民大会を湖西市体育協会に運営委託する。	子ども水泳教室等は株式会社コナミスポーツ&ライフ、ヨガ教室は西部公民館に移管し、氣功太極拳など8種目、12教室を行った。また、市スポーツ大会事業21大会を体育協会へ委託し、スポーツ少年団に6種目27回交付金を交付した。	6,727	受講者数 8,200人	人	8,200	7,526	A	A	A	B	B	A	市民がスポーツに親しみ活動することは、心身の健康保持、増進につながり、人との交流や活力を醸成するためにも必要であるので、市が継続して事業を実施する。	改善(その他)	
611	教育委員会事務局	スポーツ推進課	10	07	02		ジュニアスポーツ育成事業	生涯スポーツの基礎の確立及び競技力の向上	専門の部活でスポーツ活動をしていない中学生が学校の枠を外してスポーツに取り組み、基礎練習と個々の技術の向上によってスポーツ活動の充実を図っている。	活動は、原則第2・第4土曜日を中心に行い、競技種目は野球・サッカー・バレーボールの3種目で、276人が参加した。	869	参加生徒数 260人	人	260	267	A	A	B	B	B	A	生涯スポーツの基礎を確立できる「ジュニアスポーツ育成事業」を中学生対象に推進することによって、明るく健全な人格形成や競技力向上が期待できるため、継続して実施していく。	改善(その他)	
612	教育委員会事務局	スポーツ推進課	10	07	02		学校体育施設開放事業	生涯スポーツの推進・普及のため、利用団体・利用者の増加を図る。	学校の体育施設を地域住民に開放し、健康づくりの場を広げ、スポーツの振興を図る。 施設数:小学校6校、中学校5校、高校1校、幼稚園1園	市内学校体育施設を開放し、住民がスポーツを通じて交流する場を提供した。 運動場:663回 20,198人 体育館:3,028回 65,386人 武道場:963回 19,471人 クラブハウス:132回 636人 幼稚園:117回 3,903人	499	利用者数 105,000人	人	105,000	117,276	A	A	A	B	A	A	市民がスポーツに親しみ利用することは、心身の健康保持、増進につながり、人との交流や活力を醸成するためにも必要であるので、市が継続して事業を実施する。	継続	
613	教育委員会事務局	スポーツ推進課	10	07	02		高齢者の健康生きがいづくり事業	高齢者の健康保持・体力増進、ストレス解消及び仲間づくりを図る。	市内の高齢者を対象に、グラウンドゴルフ・ベタンク・ラージボール卓球等のニュースポーツ大会を開催し、スポーツに親しむことができる環境づくりを推進する。	事業主体となる老人クラブ「スポーツ愛好部」役員と計画運営について協議し、大会等を開催した。 開催内容:ベタンク(2回)ラージボール(2回)ベタボード(2回)グラウンドゴルフ(3回)輪投げ(1回)奉仕作業(3回)	68	大会参加人数 1,800人	人	1,800	1,742	A	A	B	B	B	A	高齢者の方たちが安心して誰でも気軽にスポーツに親しみ、楽しむことができることから、市が継続して事業を支援していく必要がある。	継続	
614	教育委員会事務局	スポーツ推進課	10	07	02	★	コーちゃんフェスティバル	市民のふれあいや心身の健康増進を図る。	誰でも手軽に出来るスポーツイベントの開催を通して、市民ふれあいや心身の健康を図る。 ・NO.1イベント(11種目) ・体力測定・健康チェック・ウォーキング	2歳から76歳までの幅広い年齢層の参加者があった。 湖西NO.1イベント 150人 体力測定・健康チェック86人・ウォーキング45人	124	参加人数 300人	人	300	281	A	A	B	B	B	A	誰でも気軽に参加できるスポーツ種目を選択して実施し、参加者から好評を得たが、競技種目への参加者が少ない。	改善(その他)	
615	教育委員会事務局	スポーツ推進課	10	07	02	★	静岡県市町対抗駅伝競走大会	県内全市町が参加する駅伝大会に出場し、選手及び関係者の交流を図るとともに、競技力の向上と本市のPRに努める。	湖西市内の小・中学校から候補選手及び実行委員を推薦してもらい、一般を含め練習会を行い、代表選手は選考会を経て選出、高校生・一般は各種大会や記録会のタイムを参考に選手を選出する。	大会運営を市大会実行委員会に委託した。 大会では、市の部において27チーム中第12位であった。	1,266	強化練習回数 35回 参加人数 70人	回 人	30 70	40 66	A	A	B	A	A	学校からの推薦による候補選手は児童・生徒の少子化に伴い、減少傾向にあるが、関係スタッフの熱意と努力により顕著にその成果が出てきている。	継続		
616	教育委員会事務局	スポーツ推進課	10	07	02	★	湖西市駅伝大会	競技力向上と日頃の運動不足の解消並びに市民の触れ合いを深め、心身の健康を図る。	参加資格:一般・高校男子・一般女子及び高校女子・中学男子・中学女子・特別参加 コース:男子21.53km(7区間)女子19.87km(7区間)	参加チーム:93チーム(一般33・高校男子15・中学男子12・特別参加19・一般及び高校女子6・中学女子8)	1,593	参加部門数 90チーム	チ ム	90	93	A	A	A	B	A	A	平成23年度から市外からの参加チーム数を20チームに制限したことにより、市内チームがエントリーしやすくなった。今後は、参加しやすい距離、チーム編成を考慮しながら、実施をしていく。	継続	
617	教育委員会事務局	スポーツ推進課	10	07	02	★	室内棒高跳湖西大会	日本陸連公認の体育施設を活用し、日本トップクラスの選手を招集して開催する。また、近隣中、高校生のレベルアップを狙い、記録会を開催する。	新居体育館の室内棒高跳日本陸連公認認定に尽力した故安田矩明氏と2大会連続のオリンピックで銀メダルを獲得した西田修平氏を偲び、国内のトップジャンパーが一堂に集い、大会を行う。	今回2回目のアメニティプラザメインアリーナでの開催となりました。大会参加選手(男子:9名、女子:6名)、記録会参加選手(高校:一般男子:30名、中学男子:29名、女子:23名)があった。	190	参加人数:大会 15人(男子9人・女子6人)記録会 78人 観客数:400人	人	80 400	86 350	A	A	A	B	A	A	選手達は、環境の整ったアメニティプラザに会場が変更されたことにより、競技力向上につながっているが、市民からすると会場までの公共交通機関がないため、不便をきたしている。	継続	
618	教育委員会事務局	スポーツ推進課	10	07	03		勤労者体育センター管理業務	施設・スポーツ機器等点検を行い、体育施設が安全で利用しやすい状態を保持する。	施設、設備、用具等が全般的に古くなっているため、利用者の利便性・安全性を考え、点検・整備・交換等を行っている。	点検業務により修繕する必要があった消防設備やトレーニング用体育器具などの修繕を行った。	5,104	利用者数 34,000人	人	34,000	38,407	A	A	B	B	A	A	市民がスポーツに親しみ、交流を深める格好の施設であり、年間を通して空きのない状況が続いているが、築後30年以上経過していることから、中・長期的な見直しの計画を検討する必要がある。	継続	